

佐賀県海洋エネルギー産業クラスター研究会



1 目的

国の海洋エネルギー「実証フィールド」や国内唯一の海洋エネルギー研究開発拠点が立地するなど、海洋エネルギーの実用化を目指す環境が整っている**地域特性**を活かし、地域を海洋エネルギーの中核拠点とし、海洋エネルギー産業の創出、地域活性化を目指す。

2 構成

産業界、学術機関（学識経験者）、官公庁/経済団体、金融機関

3 事業計画（年2回程度）

- 海洋エネルギー機運の醸成
国内・外の海洋エネルギーの開発動向の情報共有（メルマガ配信）、先進地視察
地元の自然条件（気象・海象）、社会条件（港湾、研究施設等）などの勉強会・研修会の開催等
- マッチング機会の提供
- 海洋エネルギーの研究開発、実証実験、事業化の促進（例：国事業への応募）
- 提案・要望活動

4 海エネ市場予測

※株式会社 富士経済「海洋ビジネスの最前線と将来展望2014」資料より

	2013年(H25)見込み	2030年(H42)予測	12年比
海洋エネルギー	1兆1,134億円	9兆1,500億円	14.6倍
（洋上風力発電）	1兆1,080億円	4兆3,500億円	7.0倍


5 長期ビジョン

（今後10年間の目指すべき方向性）



研究会設立経過



平成26年7月	国の実証フィールドに選定 第9回再生可能エネルギー世界展示会（東京）出展					
平成26年9月	佐賀県海エネ推進協議会設置。 工業連合会、建設業協会等との意見交換					
平成26年10月	第2回協議会					
平成26年12月	研究会設立準備スタート。 佐賀県工業連合会会員大会講演					
平成27年3月	第3回協議会					
平成27年7月	佐賀県海エネ産業推進事業成立 佐賀県海エネ推進協議会設置。 第10回再生可能エネルギー世界展示会（東京）出展					
平成27年9月 ～10月	事業者ヒアリング					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者の声(県外)</th> <th>事業者の声(県内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・将来性が見えない。 ・地元でどのような企業があり、どんな技術を保有しているか不明。 ・地元の自然・社会条件が不明。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・将来性が見えない。 ・技術開発の支援が必要。 ・地元だけでは、できない。 </td> </tr> </tbody> </table>	事業者の声(県外)	事業者の声(県内)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来性が見えない。 ・地元でどのような企業があり、どんな技術を保有しているか不明。 ・地元の自然・社会条件が不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来性が見えない。 ・技術開発の支援が必要。 ・地元だけでは、できない。
	事業者の声(県外)	事業者の声(県内)				
<ul style="list-style-type: none"> ・将来性が見えない。 ・地元でどのような企業があり、どんな技術を保有しているか不明。 ・地元の自然・社会条件が不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来性が見えない。 ・技術開発の支援が必要。 ・地元だけでは、できない。 					